

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和5年3月定例会	
議案番号 議案名	<p>議案第 70号 令和 5 年度松戸市一般会計予算修正案 議案第 70号 令和 5 年度松戸市一般会計予算修正議決した部分を 除く原案 議案第 71号 令和 5 年度松戸市国民健康保険特別会計予算 議案第 72号 令和 5 年度松戸市松戸競輪特別会計予算 議案第 75号 令和 5 年度松戸市介護保険特別会計予算 議案第 76号 令和 5 年度松戸市後期高齢者医療特別会計予算 議案第 77号 令和 5 年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地 区土地区画整理事業特別会計予算 議案第 78号 令和 5 年度松戸市相模台地区土地区画整理事業特別 会計予算 議案第 80号 令和 5 年度松戸市病院事業会計予算</p>
議員名・会派名等	はじめの会(鴈野聡、石塚裕、柿沼光利、田中睦生、岡本優子)
賛否態度	賛成
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	<p>議案第 70号、令和 5 年度松戸市一般会計予算につきまして、 第 1 条歳出予算のうち、第 10 款 教育費 第 5 項 社会教育費にお ける一部の予算措置理由が認め難いため、7 目 博物館及び美術館 費 美術文化関係事業 美術品管理業務 マイセン磁器展示関係経費 ▲7,4235,000 円を除いた修正案に賛成、修正案を除いた原案に 賛成、議案第 71号から第 81 号までの特別会計予算及び企業会計予 算について、委員長報告のとおり、賛成の立場から討論を行います。</p> <p>まず、議案第 70 号について、松戸市議会 会議規則第 101 条の規 定により、大和山委員、大谷委員、深山委員と岡本の 4 名で修正案を 提出しました。ご寄付をいただいたこと自体に異議を唱えるような意 見ではないことは申し添えておきます。</p> <p>我が会派が、修正することに至った理由は大きく 2 つの理由から です。</p> <p>1つめとして、設置場所が展示目的に対して最適であるかどうか 疑義が晴れないため。</p> <p>2つめとして、設置場所の最適性に疑義がある以上、過重な財政 負担であると判断せざるを得ないため、修正案を提出いたしました。</p> <p>続きまして、予算審査特別委員会におきまして審査されました各議 案につきまして、順次述べさせていただきます。</p> <p>◆総務費 1. 労働安全衛生事業について 不妊治療と仕事の両立を支援する観点から、令和4年4月より、不妊 治療のための休暇「出生サポート休暇」が新設されました。今後も、対</p>

象職員が休暇を取得しやすい環境づくりに努めていただけますよう
よろしく申し上げます。

2. 行政サービスセンター移転について

現在の行政サービスセンターは 21.6 坪、移転後は 39.84 坪であり、約 1.8 倍の広さとなるようですが、「DX 化」「コンパクト化」を推し進めている新庁舎建て換え面積と矛盾を感じました。行政サービスセンター、各支所、そして新庁舎関係各課の連携をしっかりとよろしく
申し上げます。

3. 性的マイノリティ LGBTQ について

人権啓発推進事業では、ファミリーシップ制度の実施に向けて、パートナーシップ宣誓制度を拡充する準備を進めておりますことから、LGBTQ に関する啓発冊子やレインボーフラッグの購入等を含め、啓発方法を検討してまいりたいとのこと、誠にありがとうございます。令和5年4月1日から本制度を拡充し、ファミリーシップ制度を導入、県内では市川市、習志野市、柏市に次いで、4番目の導入となるということです。松戸市と都市間連携をしている千葉市等でも同日からファミリーシップ制度導入されるのではないかと大きな期待を寄せています。引き続き、本制度を通して、多様なパートナーシップ、家族の在り方に対する社会的理解が広がり、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現をお願いすると同時に、松戸市男女共同参画実施プラン第 6 次計画において、初めて「多様性」という文言が入ったこと、「LGBT」を「LGBTQ」と改められたこと、国勢調査票の続柄について「調査票に同性パートナーにあたる項目を設ける、または同性パートナーとして集計を行うなど、パートナーシップ関係にある性的少数者の方々の意思が尊重されるとともに、実態把握に繋がる取組みを要望する。」との意見を国及び県へ提出して下さったことに心より感謝申し上げます。

◆民生費

1. 高齢者社会参加促進事業、シルバー人材センター運営費補助金について、シルバー人材センターで運営体制に問題があった場合に、指導等を行う権限を松戸市は持っておらず、県が有しているとの明確な答弁があったにも関わらず、理事長の人件費を 1 年間分全削除するという修正案も提出されました。昨年、松戸市シルバー人材センターで、パワハラ疑惑の報道があり、年始めに臨時理事会が開かれたり、問題が発生したことは事実ですが、議員が罰を与えるような修正案に賛成をすることはできません。繰り返しになりますが、ましてや、松戸市にはシルバーセンターで何か問題が発生した場合に介入ができるといった権限がありません。委託先や補助先における法令遵守を要綱に明示するなど、ハラスメント防止対策を講じて頂ますよう、強く要望いたします。

2. 子ども食堂新規開設・運営支援補助金について

9 団体からの申請、市ホームページに掲載のある定期開催を行う子ども食堂の数も 19 か所から 28 か所と増加しており、子ども食堂開設のハードルが緩和されたとわかりました。今後も継続して実施して頂ければと思います。新規開設にあたって資金面は元より、会場不足の問題も深刻です。また、市内の各小学 45 学区のうち 30 か所程度の学区で子ども食堂が活動しているとのことでした。学区数の目標ありきではありませんが、子どもたちが歩いて気軽に利用できる環境を整えるという観点からも、各学区に子ども食堂が存在することが望ましいため、環境の整備をお願いいたします。

一方で、子ども食堂の取り組みは子どもの貧困対策として始まったことを鑑みると、子ども食堂がない社会というのが理想です。

しかしながら、昨今の子ども食堂は子どもの貧困対策だけでなく、世代を超えて人が集まる地域の居場所として、人と人が交流する場となっており、地域の孤立を防ぐ意味でも非常に重要な役割も果たしているのも事実です。理想をめざしながらも、まずは現状の課題解決のために引き続き、本事業に取り組んでいただきますようお願いいたします。

◆衛生費

1. 抗原検査キット助成事業について

令和4年度の助成件数合計は、令和5年度2月現在 194,964 キット。販売している協力薬局の店舗数は開始時の 69 店舗から 91 店舗に拡大しました。実績、取扱い店舗の拡大と、市民の安心の為に地道なご努力いただいている成果の現れだと思えます。

2. 健康推進員活動業務について

健康推進員は、地区会長や自治会長からの推薦が必要ですが、それぞれにいろいろな人間関係があり、なりたくてもなれない「地区長ブロック」等が実際にあります。松戸市の健康推進員は定数 240 人以内と設置要項で定められていますが、令和 4 年度から 3 年の任期で松戸市は 200 人を目標としていました。しかし、実際に委嘱されたのは 151 名でした。現時点は 2 名減り、149 名となっています。推薦がなかった、困難だった、松戸市町会自治会連合会の 15 地区のうち 14 地区で欠員が出ています。推薦基準 3 項「推薦方法」は、設置要綱の第 1 条、第 4 条の趣旨に沿っていないと思いますので、令和 5 年度はいろいろな角度から問題点をひとつひとつ改善していくといった準備期間にあてていただきたいと強く求めました。ぜひともよろしく申し上げます。

3. 在宅人工呼吸器補助金について

転売防止策もしっかりされており、さらには大きく 2 点の改善を検討しているとのことご答弁でした。利用したい方が躊躇することなく活用していただけるようさらなる拡充をめざしていただきたく今後も期待しております。

4. 不妊治療助成事業について

昨年 9 月の私の(岡本優子)の一般質問の直後に母子保健連絡協議会において、新たな不妊治療費助成について意見を聞く機会を設けていただいたことに心より感謝申し上げます。本事業は市独自でありますので、常にアンテナを張って、新しい展開に沿った形での運用をしていただけることを期待しています。また、必要としている市民が一人でも多く助成を受けられるように導いていただきたいと思います。

◆土木費

1. 都市計画審議会について

都市計画法第 77 条の 2 において、市町村に、都市計画に関する事項を調査審議させるため、都市計画審議会を置くことが出来ると規定されております。これに基づき、松戸市においても、都市計画審議会条例により、都市計画に関する事項を調査審議する機関として、設置しているものです。

本市の望ましい将来像に向けた都市計画として、その合理性や妥当性などについて審議いただきたく、今以上に学識経験者の発言を引き出し、ご審議いただきしたいと思います。

◆教育費

1. いじめ防止対策委員会について

令和 4 年度はいじめの認知件数は、2月末現在の集計で5,082件とのことでした。5,082 件を認知している中で、令和 4 年度は、いじめ防止対策委員会の開催は“ゼロ”とのことでした。これが何を意味するの、検証をしていただき、いじめ問題に対し、積極的なアプローチで未然防止、重篤化防止、再発防止につとめると同時に、いじめや不登校の問題についてはしっかりと児童生徒の心に寄り添ったご対応をよろしくお願いいたします。

以上、一般会計から申し上げました。

◆企業会計 競輪事業

平成 17 年度から令和 3 年度は、特定事業の財源として指定せず、社会福祉や子育て支援、学校教育、土木事業等、様々な事業の財源として活用しており、令和 4 年度は、子育て支援事業の財源として、保育施設従事者支援補助金(松戸手当)に活用をしていました。

さらには、令和 5 年度は松戸手当の他、花火大会にも活用されるということもあり、広く市民に寄与されていると我が会派は考えており、賛成といたします。

予算審査に当たり、担当職員の皆様には丁寧に対応いただき、誠にありがとうございました。

	<p>その他、本定例会に上程された各特別会計、各企業会計の全ての予算案について妥当であると判断し、会派を代表して賛成討論いたします。</p>
--	--

(はじめの会・予算討論時間割り当て 11 分)